

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズやしる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○			定員20名、児童一人ひとりのスペースは確保できている。しかし少々狭い。なるべく広く使えるよう、備品配置を工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	○			毎朝、人員配置を確認し、法令遵守の則り運営している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				特に段差等はない。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			毎日、朝礼終礼にて、振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			例年通り、HPにて掲載しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		実施なし
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎朝の勉強会や、各種研修等を通して、全員のレベルアップを図っております。	
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			最低半年に一回以上、面談を行いそちらを基に放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○		現在、標準化されたアセスメントシートは使用なし。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフ全員で日々の活動を振り返り、改善し、より効果のあるものにして参ります。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズやしろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇時には外出活動も行い、普段できないプログラムを取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日の朝礼にて情報共有を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			その日の利用児童について、終礼にて共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			自社ケース記録アプリ Bridgeに記録し、ケース会議などに活かしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1回は最低限実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				
	関係 機関 や 保護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が出席している。
21		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			毎日の送迎時に積極的に情報共有を行っております。	
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					該当児童なし

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズやしろ

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	○			移行支援会議など積極的 に出席させて頂いております。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している			○		該当児童なし
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている			○		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る			○		現在はできておりません。今後、実施検 討して参ります。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参 加している			○		事業所連絡にマザーズとして、出席させ て頂いております。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳アプリ Bridge(自社開発アプリ) を使って、共有を行って いる。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	○				
保護者 への説明 責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○			契約時に丁寧に行ってお ります。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	○				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	○			茶話会(保護者会)を半年 に1回のペースで実施し ております。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	○			意見箱を設置したり、日 頃から保護者様との密な コミュニケーションを心 掛けております。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズやしろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			マザーズ新聞を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			鍵付きキャビネットに保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○				
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時にマニュアルをお渡ししております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			約2カ月に1回は避難訓練を行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会を中心に、年間計画に従って研修を行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			必要な児童については、所定の手順に従って、対応しております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			全社で再発防止のため、共有を行っております。	